

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に◆が付加されています（2023年度以降）

開講科目名／Course	心理的課題を抱える子どもの理解と支援／Understanding and Supporting for Children with Psychological Challenges		
時間割コード／Course Code	R1001140_G1		
開講所属／Course Offered by	共通／		
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year 第3クォーター／3Q		
曜限／Day, Period	他／Otr		
開講区分／Semester offered	後期／the latter term		
単位数／Credits	1.0		
学年／Year	1,2,3,4		
主担当教員／Main Instructor	北岡 大輔		
授業形態／Lecture Form	講義・演習		
教室／Classroom	南紀熊野サテライト／南紀熊野サテライト		
開講形態／Course Format			
ディプロマポリシー情報／Diploma Policy	要件所属／Course Name	ディプロマポリシー／Diploma Policy	DP値／DP Point
	共通	幅広い教養と分野横断的な学力	4
		課題解決力と自己学修能力	2
		協働性とコミュニケーション能力	2
		地域への関心と国際的視点	2
担当教員名／Instructor （担当教員所属名／Affiliation）	北岡 大輔（教育学部（教員））、中川 靖彦（教育学部（教員））		
授業の概要・ねらい ／Course Aims	不登校やいじめ、暴力行為など、子どもたちを取り巻く問題は、年々多様化・深刻化している。本講座では、こうした問題の背景を心理学および教育学の視点から考察し、事後的対応にとどめず、予防的視点を含めた実践的なアプローチを学習する。具体的には、子どもの権利に基づく生徒指導や、発達障害の二次障害への教育的支援について理解を深める。さらに、実際に支援に携わる専門家の取り組みに触れることを通して、現場の実情に応じた具体的な支援方法について協議する。こうした学びを通して、社会的な課題に向き合い、支援につなげていく力を身につけることを目的とする。		
到達目標 ／Course Objectives	・不登校やいじめ、暴力行為の背景にある子どもの心理的な課題について理解を深め、説明することができる。 ・ケースに応じて、心理的な課題を抱える子どもの理解・支援の具体案を提案することができる。		
成績評価の方法・基準 ／Grading Policies/Criteria	【成績評価の方法・基準（学部生のみ）】 1．授業ごとの目標に対する達成度評価を基本とし、グループディスカッションにおける課題への取り組み方等を含めた総合評価を行います。 2．各回の担当者がミニレポートを課します。レポートの配点は、各回20点満点です。 3．各回のグループディスカッションにおける課題への取り組みの配点は、各回10点満点です。 ＊2と3を合計し、それを100点満点に換算して成績評価します。		
教科書 ／Textbook	Moodle上に資料をアップロードします。		
参考書・参考文献 ／Reference Book	生徒指導提要（改訂版） https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008_00001.htm		
履修上の注意・メッセージ ／Notice for Students	子どもが直面する現実的な問題を扱う科目ですので、自分なりの課題意識を持って講義、グループディスカッションに参加するよう努めてください。		
履修を推奨する関連科目 ／Related Courses	適宜紹介します。		
授業時間外学修（予習・復習等）の内容 ／students learning outside of the class, preparation and review are included	事前・事後学習については、その都度連絡する。		
その他連絡事項 ／Other messages	記載事項なし		
授業理解を深める方法 ／How to deepen your understanding of classes	授業で紹介される文献など、関連する文献を講読する。 授業テーマに関連する社会的な出来事に関心を向け、情報収集と理解に努める。		
オフィスアワー ／Office Hours	木曜12:30～13:00 ＊事前にkitaoka@wakayama-u.ac.jp（教育学部・北岡大輔）までメールで予約してください。 ＊東4号館（教育学部特別支援教育棟2階）実203室です。		

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に◆が付加されています（2023年度以降）

科目ナンバリング ／Course Numbering	C10021J1011111B1	
実務経験のある教員等による授業 科目 ／Practical Experience	実践的教育 ／Practical Education	2. 該当する
	実践的教育の内容 ／Contents	学校教員（小・中・特別支援学校）及び心理職の実務経験がある教員が、実際の事例を通して、子どもの心理的な課題に関する理解を支援する科目である。

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け ／Subjects and position in the whole course	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考（担当） ／Notes
第1回（10月17日13:00-17:00）	・オリエンテーション ・心理的な課題を抱える子どもの多面的なアセスメント	・BPS（生物・心理・社会）モデルに基づくアセスメント、発達支持的支援、SOS発信教育について理解する（講義） ・アセスメントに基づく支援を検討する（ディスカッション） ＜ゲストスピーカー＞ 藤田絵理子氏（和歌山県立医科大学小児成育医療支援室公認心理師）	北岡
第2回（10月24日13:00-17:00）	・子どもの問題行動等の現状とその背景にある心理的要因 ・不登校児童生徒の心理とその支援	・子どもの問題行動等についてデータに基づき分析し、臨床心理学的見地から背景要因について考察する（講義） ・不登校児童生徒支援を中心に、子どもの心の声を聴く支援のあり方について検討する（講義・ディスカッション）	中川
第3回（10月31日13:00-17:00）	・発達障害の二次障害への教育的対応 ・授業のまとめ	・二次障害の背景要因とその予防にむけた指導・支援について考察する（講義） ・子どもの自他理解と自尊感情を高める指導・支援について検討する（ディスカッション）	北岡